

# 避難行動判定フロー

## あなたがとるべき避難行動は？

平时に確認しておきましょう

防災マップ※1で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※1 防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※2、自宅の外に避難が必要です。

例外

※2 浸水の危険があっても、  
 ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である  
 ②浸水する深さよりも高いところにいる  
 ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。  
 ※2 土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3が出たら、市が指定している**指定避難所に避難**しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4が出たら、市が指定している**指定避難所に避難**しましょう

## 避難所にペットと一緒に避難できますが、ペットの世話は飼い主の責任です！

避難所では、動物が苦手な方やアレルギーのある方にも配慮する必要があるため、ペットは原則としてケージなどに入れ、指定されたエリア（屋内または屋外）で飼い主の方にお世話をしていただくことになります。

このため、避難所はペットにとっても慣れない環境でストレスを感じやすくなる場合があります。

一緒に避難される際は、ペットがケージ内で落ち着いて過ごせるよう日頃から慣らしておくことや、基本的なしつけ、狂犬病予防接種などの健康管理を行ってください。あわせて、ペット用の食料、水、トイレ用品など必要な物資は、飼い主ご自身でご準備いただきますようお願いいたします。

飼い主の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。